AICHI-NAGOYA2026 「ONE ASIA CREW」
NEWS LETTER
2025 12 VOL. 6.

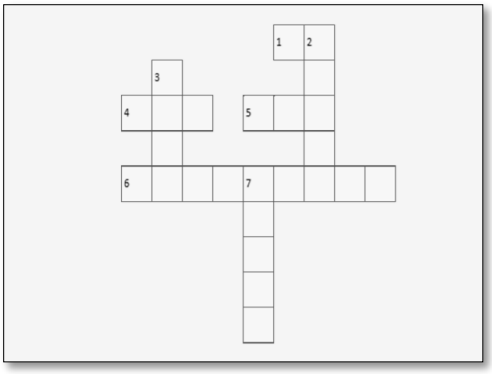
愛知・名古屋2026大会ボランティアに関する最新情報などを月1～２回お届けします！
大会のことをより理解し、皆様同士のつながりが深まるきっかけになれば嬉しいです。

Topic 01 今月のピックアップ情報！
三好池でカヌー体験＆ゴミ拾いイベントを開催！

先日、天候にも恵まれる中、アジア競技大会のカヌー競技会場となる「三好池カヌー競技場」で、カヌー体験＆ゴミ拾いイベントを開催しました。当日は水面のゴミが少なかったため、池周辺を散策しながら清掃活動を行い、その後カヌー体験を実施しました。水面がきらめく絶好のコンディションの中、参加者の皆さまはやや緊張した面持ちでカヌーに乗り込みましたが、漕ぎ進めるにつれ笑顔が広がっていきました。また、カヌー競技の概要や漕ぎ方のレクチャーを受けた後には、大会本番で使用するコースを漕ぐ体験や、簡単な競争も行い、より競技への理解を深めていただけたと思います。更に当日は、大会マスコット「ホノホン」も駆けつけ、参加者の皆さまとの写真撮影やふれあいを通じて大いに盛り上げてくれました。今後も、愛知・名古屋2026大会に向けた機運醸成や、参加者同士の交流が広がるイベント情報をお届けしてまいります。

当日のカヌー体験の様子（写真左）とホノホン（写真右）

Topic 02 愛知・名古屋2026
クロスワード



愛知・名古屋2026大会に関連した言葉や数字のクロスワードクイズをご用意しました。ぜひチャレンジしてみてください。

■ヨコのカギ
１.第20回アジア競技大会の競技数は現時点でヨンジュウ〇〇競技？
４.愛知・名古屋2026大会のメイン会場があるのは名古屋市〇〇区？
５.今回行われる第5回アジアパラ競技大会の競技数は〇〇ハチ競技
６.愛知・名古屋2026大会でボランティアをしてくださる皆さんの名称は？

■タテのカギ
２.前回大会の開催国は？（略称で）
３.第5回アジアパラ競技大会キャラクターの名前は？
７.大会開催までの旅路をボランティア〇〇〇〇〇という。

Topic 03 ボランティアインタビュー
松岡　正晃さん

「地元愛と挑戦の心で、多くの方の希望に」

今回ご紹介するのは、地元開催となる愛知・名古屋2026大会への強い想いを胸に、ボランティア応募を決意した松岡さんです。
「地元だからこそ、誰よりも愛し、盛り上げる自信があります。そして自分自身がハンディを背負っているからこそ、同じ境遇の方々に“ハンディがあっても活躍できる”という喜びを届けたい」―そんな想いが応募の大きな原動力になりました。
スポーツを通じて世界中の人々が集うこの大会に携われることは、「本当に一生の宝物になる」と語る松岡さん。選手を全力で応援し、支えたいという気持ちは人一倍強く、「アジア大会を大成功にしたい」という熱い情熱がにじみます。
活動に向けては、パラサポーター研修への参加や関連イベントへの積極的な参加で準備を進めています。また、英語と中国語の学習にも励み、より多くの方々とコミュニケーションが取れるよう努力を続けています。
地元を愛し、自分の可能性を信じ、挑戦を恐れない心。そして誰かに勇気と希望を届けたいという温かな想い―
松岡さんのその姿勢は、2026年に訪れるすべての人を明るく励ます、強い光となることでしょう。活動を通じて得た経験は、きっと大きな自信となり、新たな一歩を踏み出す原動力になるはずです。来年開催される愛知・名古屋2026大会でのボランティア活動でも、その情熱と行動力が大いに発揮されることでしょう。その輝きが、未来へ向かう多くの人々の背中をそっと押してくれることと思います。